

**令和4年度 東北地区高等学校PTA連合会 広報紙コンクール
審査結果（賞別）**

賞	学 校 名	紙名・号数	全国大会
最優秀賞	岩手県立盛岡北高等学校	「MORIKITA」第2号	○
優 秀 賞	福島県立保原高等学校	「あぶくま」第103号	○
	宮城県気仙沼高等学校	「気高PTA会報」VOL.9	○
	岩手県立一関第一高等学校	「温故知新」No.153	○
	仙台市立仙台商業高等学校	「仙商」第13号	○
	青森県立青森工業高等学校	「PTAだより」第63号	○
	青森県立五所川原農林高等学校	「涓流」第45号	○
優 良 賞	山形県立酒田西高等学校	「はまなす」第69号	○
	秋田公立美術大学附属高等学院	「エコー」Vol.68	○
	福島県立若松商業高等学校	「明浄」No.72	○
	福島県立小名浜海星高等学校	「PTA会報」第3号	
	岩手県立黒沢尻北高等学校	「黒陵」vol.142	
	宮城県農業高等学校	「宮農」	
奨 励 賞	青森県立八戸工業高等学校	「和」第94号	
	秋田明德館高等学校	「明德館」	○
	山形県立庄内農業高等学校	「PTAだより」第91号	○
	山形県立山形北高等学校	「山形北高PTA会報」第80号	
	秋田県立大館桂桜高等学校	「さくらとかつら」第14号	

* 全国大会での展示は、各県から2校を推薦することになっております。

* 表彰は例年東北大会の席上行っております。

令和4年度 東北地区高等学校PTA連合会 広報紙コンクール 外部審査委員講評（個別）

前東北芸術工科大学教授・元山形大学大学院教授 渡部 泰山

県名	No.	学 校 名	講 評
青 森	1	青森県立青森工業高等学校	生徒の活動を記録した写真の膨大な量をコンパクトにしてまとめ、丁寧に割り付けされ活動が立体的に浮かび上がっている。特集の生徒アンケート、表紙、ねぶた部は地域とのかかわりがほのぼのと伝わる。
	2	青森県立五所川原農林高等学校	学校の特色を隅々まで配慮された会報となっている。見開きにPTA 活動をもってきたのは、学校及び学年新聞との差異化を明確にしている。学科の紹介、進路指導も臨場感がある。「スマホ依存」も時宜をえたもの。
	3	青森県立八戸工業高等学校	迫力ある表紙で、頁をめくる楽しみが喚起された。写真も豊富で学校の様子が手に取るように俯瞰できる。ただ、PTAの活動の顔があまり見えてこないで、やや、学校新聞、学校紹介誌的印象が濃かった。
岩 手	4	岩手県立盛岡北高等学校	表紙と見出しのマッチングの良さ、またもコロナ禍にあって生きた言葉の花道、PTA事業、研修など、活動の主体性が紙面にあふれていた。生徒たちの実践ワークショップの紹介も素晴らしかった。デザイン性が高い。
	5	岩手県立黒沢尻北高等学校	生徒、学校、保護者との新しいコミュニケーションの現状と課題に向けたアンケートの調査、分析は、視野、交流の広がりと健全さ、さらに趣味等も勘案されたもので実に貴重です。体育祭の写真は少し見づらかった。
	6	岩手県立一関第一高等学校	「餞」、船出する生徒たちの立ち姿が鮮やか。「お弁当アンケート」生徒たちの素顔と家庭との暖かな交流が見て取れて、知られざる企画として可笑しみが詰まっていた。アンケートも保護者の声を活かされていた。
宮 城	7	宮城県気仙沼高等学校	編集が丁寧で、PTAの活動報告が保護者の声と連動しなから記録され、積極的な活動が見える。歴史の教訓もアンケートと共に防災活動として優れた特集。生徒活動の写真、活字が小さく判読に難あり。
	8	仙台市立仙台商業高等学校	学校の様子が四季感をうまく誘因しながら丁寧に記録。部活動、学科の活動など、見やすくレイアウトされている。ただ、学校新聞、生徒会誌との差異化など課題も見え隠れします。特にPの活動、声が欲しい。
	9	宮城県農業高等学校	生徒活動の紹介は比較的シンプルですが、PTA活動は学校行事と連動して農高らしい特色ある取り組みが丁寧に記録されています。紙面全体が静かな印象。やや型にはまった写真の割り付けの工夫など必要。

秋 田	10	秋田県立大館桂桜高等学校	学園祭の生徒のパフォーマンスが鮮やか。保護者に伝える学校の運営記録がやや薄い印象を受けた。卒業記念写真に寄せた保護者の言葉が生徒を取り囲んで温かく包み、編集の意図が良く伝わる。
	11	秋田明德館高等学校	学校と地域、そのつながりを大切にしている会報。生徒活動、特に学校祭の雰囲気は伝わるが日々の生徒の学びの姿が見えにくい誌面。編集力とユーモアがあって面白いが、保護者の思いが希薄である。
	12	秋田公立美術大学附属高等学院	一笑千花、芸術・文化の香りのするインパクトある内開き写真。生徒の活動の多面性、視野の広い活動が目にとまる。教職員の素の出した紹介及び写真が楽しい。変形誌であるがコンパクトであり、デザイン性も高い。
山 形	13	山形県立山形北高等学校	表紙に生徒の活動の歴史が写真で示され、見開きにPTA活動の計画、役員、コンセプトが明確に記されたメッセージ。各種活動の声も丁寧である。写真の割り付け、配置も鮮明で見やすい。まとまりの良い編集。
	14	山形県立庄内農業高等学校	生徒の活動を過不足なく紹介。特に学校の特色である農場だよりは、豊かな学習環境と生徒の学びの特性を浮き上がらせ、実に穏やかに伸びやかな紙面に仕上がっている。PTA活動報告も端的で分かりやすい。
	15	山形県立酒田西高等学校	表紙、裏表紙に生徒の活動写真、見開きは、PTA活動の多様な生徒、学校支援が具体的に記事として記録。模擬面接、街頭指導、研修会、仕事ツアー、さらに子どもとの語り合いアンケートなど、豊かな誌面構成。
福 島	16	福島県立保原高等学校	表紙のさわやかさが印象的。学校の統合を機に100年の歴史の重さ、その未来を見つめる。生徒の校内活動、旅行、写真満載の迫力圧巻。コロナ対策授業、朝食の見直し、背表紙にPTA活動等手際がよい編集。
	17	福島県立若松商業高等学校	丁寧な紙面作りで読みやすい。授業をはじめ生徒の諸活動が丁寧に写真で記録紹介。学校内職員配置もわかりやすく親切である。ただ、PTAの広報誌として、活動が見えにくくやや学校紹介誌寄りになっている。
	18	福島県立小名浜海星高等学校	珍しい学科構成の学校で、学校紹介としては、非常に分かりやすい。生徒の多様な活動、海洋実習など関心を引き付ける。PTA活動の計画だけでなく具体性ある活動の記録、親の声が欲しい。

令和4年度 東北地区高等学校PTA連合会 広報紙コンクール 外部審査委員講評（全体）

前東北芸術工科大学教授・元山形大学大学院教授 渡部 泰山

東北6県から代表で選出された各高等学校PTA連合会の18の広報紙を精読、鑑賞させていただきました。いずれもそれぞれの学校の存立基盤の特色、個性を背にした、質の高い広報誌となっていました。学校内の生徒の活動が、動きのある多くの写真に彩られ、コロナ禍にあってもそれぞれの青春群像を浮かび上がらせ、見て読む者に胸をなでおろさせるような安堵感をもたらしています。

ともすれば閉塞感に苛まれ、失われた高校生活、そう危惧するところもありましたが、その時代の青春が紙面に確かに存在し、未来、希望へとつながっている息吹が感じられました。

少子化、核家族、共働き、コロナの悪疫、物価高、年金、実質賃金の下降、それが世界に突き付けられたウクライナ・ロシア世界的戦況と連動しながら、私たちの生活を困窮させています。

こんな時世にあって、学校・生徒と保護者・地域との懸け橋となって支える続けるPTA活動は、役員のみならず手さえない環境に置かれている学校もあるやに聞き及んでいます。役員となられ、研修会、各種会議・委員会、学校行事等への参加も含めて、これらを会報として記録・編集・発行されることは並大抵の努力なしでは成り立たないと感じさせられました。

ひたすら子どもたちの健やかな成長を願い、教職員のたゆまざる教育活動を支援しつつ、時には進路、就職、子育て、携帯問題などの調査分析、保護者の悩み相談など、実に多岐にわたる内容を織り込んだ編集は、生徒、学校、教職員、地域、保護者同士をよりよく知るいのちの学びの太い糸でもあります。

「お弁当アンケート」「PTA講演会オンデマンド配信」「防災特集」「コミュニケーションギャップ克服特集」「スマホ依存」「卒・保護者の言葉の花道」「PTA役員活動特集」「豊かな学びの環境・農場紹介」「統合される100年の歴史」など、多様性あふれる特集の数々は、学校・生徒の逡巡、保護者の願いと折り重なって、彩りある形となって届いています。

ただ全体として、学校新聞、学校広報紹介等の内容と差異化が少ない紙面構成が見られることや、限られた予算の中で多くの情報を盛り込み焦点化できずに網羅的となって、誌面のインパクト、記事の意図を弱めている編集が見受けられます。PTA活動の特色ある活動、保護者の声を丹念に吸い上げ、生徒、学校、保護者との更なる豊かな交流が実現されることを切望します。

子どもが学校、家庭で身につけたことは、生涯生き続けます。子どもへの最大の贈り物であるという信念が必要です。特に、「愛」「他者を思いやる」「自然を慈しむ」、こうした人として生きていくことの最も大切な資質は、学校、家庭で教わらなければ、よそで学ぶこと、資質として身につけることはなかなか容易ではありません。子どもは、教師、親、すなわちPTAの方々の大人の姿を見て学んでいきます。その姿を是非、会報に反映させていってほしいと思います。